

性質別では、幼児教育・保育の無償化に伴い扶助費が増加。普通建設事業費でも、三島駅南口東街区の再開発や市民文化会館の大規模改修、排水ポンプ車の導入などにより、前年比7.3%の増加となっています。

歳入について
 根幹をなす市税では、法人市民税で地方交付税原資化の拡大による減収のほか、たばこ税でも減収が見込まれる一方、個人市民税や固定資産税で増加を見込んだ結果、市税全体では前年比0.1%の増収としました。

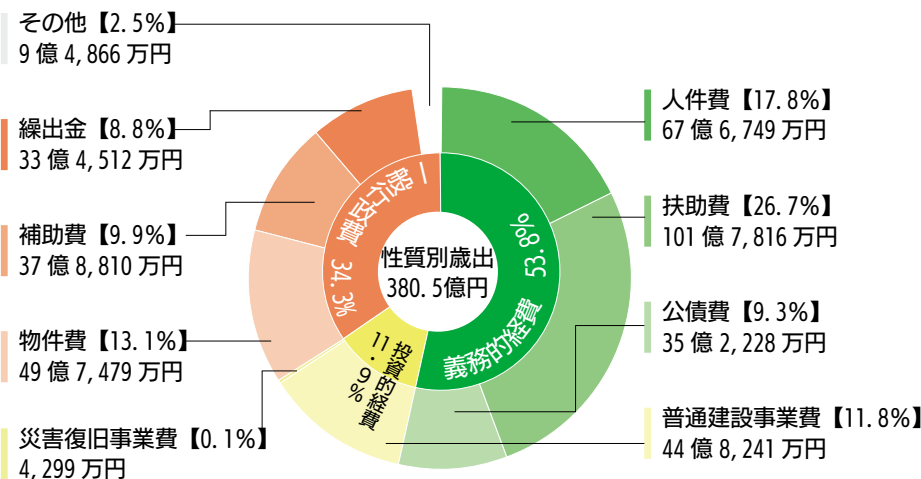
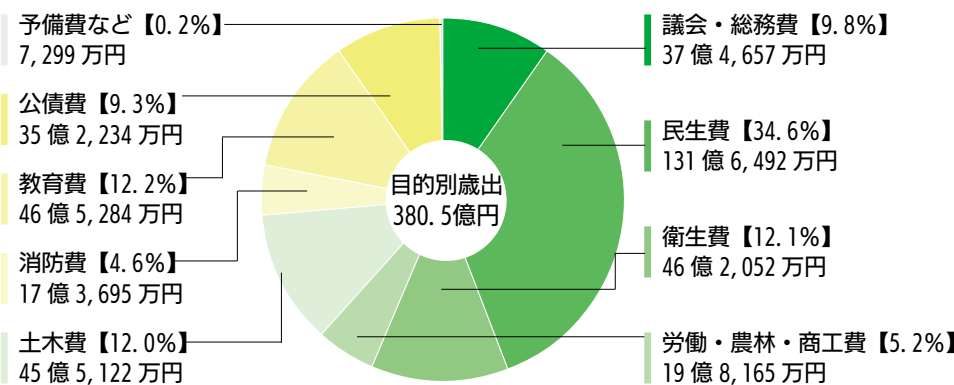
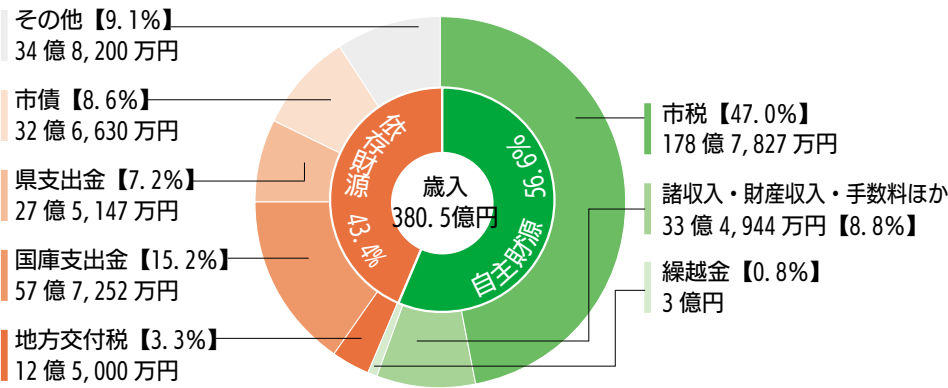
歳入について
 市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にするものです。市民の皆さんには最もかわりの深い予算です。

一般会計

当初予算
 一般会計
 を詳しく

用語解説！

- 市税**…市民税・固定資産税など市独自の税金
- 繰越金**…前年度予算から繰り越したお金
- 地方交付税**…各市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金**…使い道を決めて国や県から交付されるお金
- 市債**…市が借り入れる借金
- 自主財源**…市税、市営住宅使用料など、市が収納、徴収できる財源
- 依存財源**…国庫支出金など、国や県から交付や割り当てられる財源
- 人件費**…市職員への給与など
- 扶助費**…高齢者・児童・障がい者などの支援にかかる経費
- 普通建設事業費**…道路や公共施設の新・改築などにかかる経費
- 物件費**…消費的性質をもつ経費（委託料、通信運搬費、光熱水費など）
- 補助費等**…市から団体などの補助のため払う経費や報償費、火災保険料など
- 繰出金**…一般会計、特別会計、基金の間で支出される経費
- 義務的経費**…支出が義務付けられていて自由に減らすことが困難な経費（人件費、扶助費、公債費など）
- 投資的経費**…支出効果が資本形成に向かい、将来に残るものに支出される経費
- 一般行政費**…義務的経費と投資的経費以外の経費



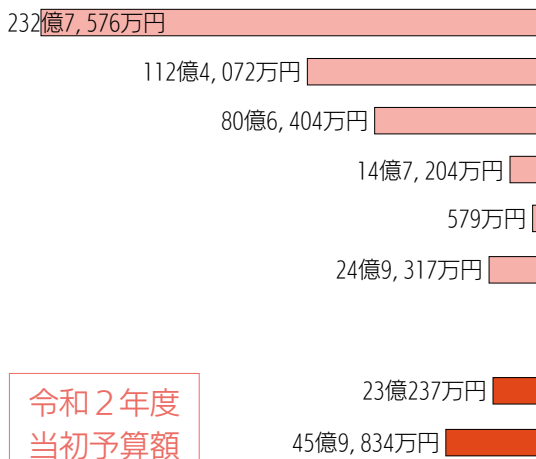
特別会計

経理を他の会計と区別する必要が
あるものが該当し、法律や条例に基
づいて設置します。三島市には7つ
の特別会計があります。
※水道事業会計と下水道事業会計は
企業会計方式を用い、独立採算性
で事業・経理を行っています。

当初予算

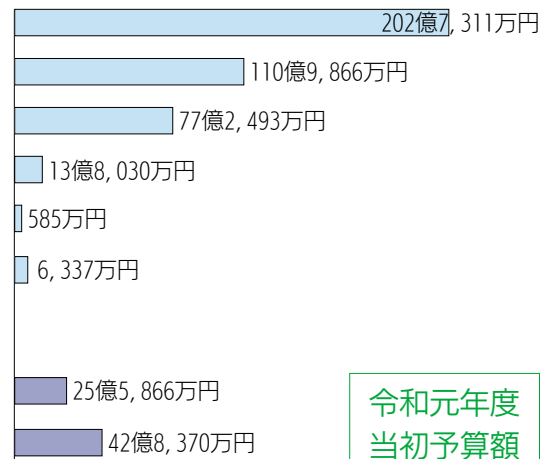
特別会計

を詳しく



令和2年度
当初予算額

- 特別会計小計**
- 国民健康保険
 - 介護保険
 - 後期高齢者医療
 - 墓園事業
 - 駐車場事業
- 公営企業会計**
- 水道事業
 - 下水道事業



令和元年度
当初予算額

目的別の金額内訳

<p>衛生費 /42,254 円</p> <p>健康増進、環境衛生、ごみ処理など</p>	<p>民生費 /120,390 円</p> <p>高齢者・障がい者福祉や子育て支援など</p>	<p>総務費 /31,846 円</p> <p>税の賦課徴収、戸籍の維持管理など</p>	<p>議会費 /2,416 円</p> <p>三島市議会の活動、運営など</p>
<p>土木費 /41,620 円</p> <p>道路、公園の維持管理、都市基盤整備など</p>	<p>商工費 /14,415 円</p> <p>商工業や観光の振興など</p>	<p>農林費 /3,357 円</p> <p>農業の振興など</p>	<p>労働費 /350 円</p> <p>就労支援や労働の振興など</p>
<p>その他 /667 円</p> <p>災害復旧・予備費など</p>	<p>公債費 /32,211 円</p> <p>借入金等の元金・利子の返済など</p>	<p>教育費 /42,549 円</p> <p>幼稚園・小中学校の維持管理、社会教育など</p>	<p>消防費 /15,884 円</p> <p>消防や救急など</p>

当初予算を市民1人あたりで考える

市民1人あたりに1年で使われるお金
347,959 円 (一般会計分)

市民1人あたりが1年で納めるお金
163,493 円 (税金)

税の種類	金額
市民税	74,934円
固定資産税	68,331円
都市計画税	12,282円
市たばこ税	5,569円
軽自動車税	2,377円

※令和2年度当初予算と令和2年2月29日現在の三島市の人口109,352人を基に計算しています。